

超音波画像（運動器エコー）による 筋の評価と理学療法への応用

Key word: 筋力・筋厚・筋輝度・筋硬度・羽状角・エラストグラフィ・ROI・ImageJ

概要

最近の超音波検査(エコー)測定機器の進化は、骨・骨膜・関節軟骨・筋・筋膜・靭帯・脂肪などの一連の組織を非侵襲的かつ簡便で即時に評価できる可能性を示している。理学療法の臨床場面においても、解剖学的・生理学的視点からの動態評価を実践できるデバイスとしても用いられるようになってきている。例えば羽状角などの形態変化や筋厚を指標とした骨格筋の量的評価、そして筋の輝度を用いた質的な評価などである。しかし、その測定方法・手技に関しては確立された知見も乏しく、一定の基準・見解もない。さらには同一験者における再現性さえも疑問視されている。これらのことは解決しなければならない大きな問題点であろう。そこで今回は、実際の測定機器も使用して下記の通りの実技を行う予定である。なかでも筋輝度を“ImageJ(画像処理ソフトウェア)”で処理する方法、“エラストグラフィ（超音波検査の1種類）”を用いた筋硬度の測定は最新の講義となるであろう。この講座は超音波検査測定の方法・手技の均一化の方法を考察し、そして超音波検査が日々の理学療法に応用できることを確信する機会となる。

スケジュール 午前：講義中心 午後：実技中心

- ①筋厚と羽状角の測定方法（キャリパの設定）と体幹・下肢筋を中心とした実技
- ②下肢筋の輝度の測定方法（ROI：region of interestの設定・imageJでの数値化）
- ③エラストグラフィによる筋硬度の測定

【講師】 福元喜啓先生（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

【日時】 2016年12月4日（日）10：00～16：00（9：30受付）

【受講料】 7500円（第17回エコー実践編と同時申し込みで2500円引き）

【申し込み方法】 HPにて受付

【HP】 <http://jissen-riha.com>

【問い合わせ】 jissen-riha2@ab.auone-net.jp

【会場】 酒井医療（株）関西支店ショールーム
（〒565-0853 大阪府吹田市春日3-20-8）

【交通のご案内】 北大阪急行電鉄「桃山台駅」下車
南改札口より南へ徒歩7分

※近隣に駐車場が少ないので公共交通機関をご利用下さい

